

ガッツポーズ
ヒント
1

おすすめ絵本



おやくそく えほん
はじめての
よのなルールブック

監修・高濱正伸 (花まる学習会 代表)
絵・林ユミ
発行・日本図書センター
定価・本体1300円 (税別)

「メシが食べる大人」になるための土台として小学校入学前後に身につけた42の習慣を「おやくそく」として紹介!

★わが家のおやくそくを見直してみよう。

しつけや教育方針は、個々の家庭によって違いがあります。それは親自身の「哲学」であり「決意」の表現でもあるから。だから、これが正解というものはありません。「自分がされてイヤなことは、お友だちにもしない!」「遅刻をしない」「これは絶対に守ってほしい!」ことを夫婦で決め、わが子にしっかり伝えていくことが大切です。



★何でも安心して話ができる
雰囲気作り

学校から帰宅するなり「今日は何があった?」と矢継ぎ早に質問を浴びせたり、「A君にイジメられて……」とポソッとつぶやいた「イジメ」というワードに過敏になって「先生に電話する」などと大事にしたりすると、子どもは萎縮して口を閉ざしてしまいます。まずは「ただいま」の声をしっかり聞くこと。あれ? ちょっと元気がないな、と感じたときは「おかえり!」とギュッと抱きしめてあげてください。ホッと、ゆっくり話を始めるでしょう。



こまったときは、
おとなにはなす

なにかこまったことがあったら、おうちのひとやせんせいにはなすてみよう。はづかしがなくていいよ。こわがなくてだいじょうぶ。こまったことがないひとなんて、いないんだから。あなたのまわりのおとなは、あなたをたすけたいっておもっているよ。

ガッツポーズ
ヒント
2

おすすめ絵本

メシが食べる大人になる!
もっとよのなルールブック

発行・日本図書センター
定価・本体1300円 (税別)



★環境や考えの違いをまず
「肯定」して受けとめる

小学校という新しい環境、先生、年齢も価値観も違うママ友……すべてを「まるっ」と受けとめることから入ると、自分自身が「違う」ことで苦しんだり悩んだりしなくてすむでしょう。「否定」から始めしまうと、なかなか前に進めず、世界を閉ざしてしまうものです。

学校は「心の免疫」をつけに行くところ

子どもたちは、関わる世界が広がるほどに、どうしてもない「理不尽さ」を知るようになります。ルールを守らない、ウソをつく、悪口ばかり言う……。『どうして!?』と思うことが日常茶飯事に起きるなか、世の中には「いい人」ばかりではないことを知るのです。しかし、その理不尽さに文句ばかり言っても、物事が解決しないということも身をもって学んでいくもの。「知識」はオンラインでも得ることができますが、いろいろなことが起きる人間社会をたくましく生きていく経験は、集団生活でしか培うことができないのです。



高濱正伸の
毎日子育て
ガッツポーズ

第5回「1年生になる前に知っておきたいこと」



PROFILE
花まる学習会 代表
高濱正伸先生

東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科修士課程修了。1993年に「作文」「読書」「思考力」「野身体験」を重視した、小学校低学年向けの学習塾「花まる学習会」を設立。父母向けの講習会は、年間3万人が参加。「情熱大陸」など数々のドキュメンタリー番組でも取り上げられ話題に。「小3までに育てたい算数脳」「わが子「メシが食べる大人」に育てる」など著書も多数。

小学校入学を目前にして「お友だちと上手くやっていけるかな」「宿題はどのくらい?」「先生とはどんなふうに関わっていくの?」など、保護者の期待と不安が膨らんでくる時期ではないでしょうか? でも、そんなに緊張して身構えないでください。子どもにとっては「未知の世界」への不安よりもワクワクがいっぱい! ランドセルを背負って「小学生になるんだ!」と、やる気満々です。それに、子どもの環境に対する順応性はとても優れていて、なんとかやっていく力をもっているのです大丈夫!

保護者の心得

先生とはタッグを組む!

先生と親は、子育てにおいて協力体制をとる“仲間”なんだという意識があるといいですね。「客として(学校に)文句を言って当然」というスタンスでは、決して良好な関係性は築けません。

情報をひろくにいく!

学校での出来事を詳細に話すクラスメートの親と仲良くなったり、親同士のネットワークを広げておいたりすると、情報の偏りがなくなり、いまひとつ要領を得ないわが子の話に補足もできるので安心です!

子どもの言い分だけで
クレームに走らない!

子どもは自分の都合のいいように話を作ることがあります。「まあ、かわいそうに」と、親に心配され、かまって欲しいからです。だから、子どもの話はしっかり受けとめた上で、大騒ぎはせずに冷静になりましょう。クラスメートの親にそれとなく確かめてみてほしいですね。親にギュッと抱きしめられて話を聞いてもらうことで、翌日はケロッとして忘れてるなんてことも少なくありません。

- 1年生になる前にしておく心の準備4が案
- ★子どもに伝えるおやくそく(家訓)を決める。
 - ★子どもがのびのびと報告できる状態を整えておく。
 - ★環境の変化をまるっと肯定する心構えをしておく。
 - ★情報収集するネットワークを広げる準備をしておく。

